

サルの苑タイムズ

新春「雑感手帖」

加藤和昭

新たな年を迎え、本年もよろしく願いいたします。

二〇二四年が始まったばかりですが、痛ましい報道も多く、様々な困難に直面している方たちもいらっしゃると思います。未来に悲観してしまいがちですが、そればかりではいけないと感じます。人間は心も体も急所を撃ち抜かれると倒れます。倒れることは仕方のない事です。でもいつまでも倒れているのではなく、時間が掛かってでも、気持ちが切り替えられなくても、心の痛みを耐えながらも、周囲や誰かの力を借りても、自分で立ち上げることが大切であり、そんな人間に私もありたいのです。昇り



(施設長)

龍という縁起の良い言葉があります。運氣をつかみ、飛躍する印象を持ちます。そして昇龍の向かう先には太陽があるので、困難を乗り越え心願成就できる、そんな一年になるように、自分自身を動かしていきたいと思えます。

今年も高崎市の苑は、皆様方にご助力いただくだけでなく、まず自分たちをしっかりと支え、周囲の方たちの力になれるように努力していきたいと思えます。

令和6年1月15日発行
第112号
〒370-0002
高崎市日高町433-1
TEL: 027-329-7211
社会福祉法人健康会
特別養老施設
高崎市の苑

ユニット短信

●「初詣の後はおみくじ」
E・Fユニットでは初詣をして頂こうとユニット内に鳥居を設置。「立派な鳥居!」「初詣ができるの?嬉しいよ」など会話



話が弾む中、イベントがスタートしました。お参りの後は初詣の定番!おみくじを引いて頂きました。何が出るのかとおみくじが開かれるのをじっと見つめる皆様。唯一の

追想「60年振りに蘇ったギター」

三号館Hユニット介護室の前にこのほど、一本のクラシックギターが飾られ、行き交う皆さんから注目されています。持ち主はHユニットのご利用者・木暮正様。施設入所以来、居室の一角に静かに置かれてあったのを、以前から気に懸けていたアマチュアのベータスギター奏者でもある安達恵里子職員が、木暮様の許可を得て、欠損していた二本の弦を修復、年



この日、タンバリンを持って参加した木暮様は、実に約六十年振りに再生した、わが青春のギターを前にし、満面の笑顔を見せていました。

昨年(2023年)に続き第二回推しマス総選挙が始まり、群馬県老協では「Gちゃん」への投票を関係者に向けて強く呼びかけています。

投票要領については、上毛新聞1月元旦特集号

Gちゃん推しマス選挙

やつを味わって頂き、新たな年の訪れを感じるひと時となりました。今年も皆様にとって素晴らしい年になりますように。

木暮様は二十代の頃、クラシックギターを習い、青春時代の一時期をギターと共に過ごしました。群馬ギター連盟に所属し、昭和四十年、群馬音楽センターで合同演奏会に出演したことも。奥様も一時期、教室に通われた縁でお二人の結婚式では、先生が花向けのギター演奏をされたそうです。

その後、高度経済成長期をものづくりのエキスパートとして、働き詰めの時代を過ごされた木暮様。ギター演奏とは縁遠くも身近な場所に置いてあったようです。

忘れぬ青春時代から約六十年の時を経て、木暮様のクラシックギターが今再び「高崎市の苑」で蘇りました。



2024年(令和6年)が開幕 施設開設10周年 記念の年を出発



高崎市箕郷町善地梅林より1月1日に撮影



新春インタビュー 年男年女に聞く

安達恵里子さん(三号館職員)

●「挑戦」の一年でした。キャリアアップを目標に、ケアマネ試験に猛勉強の末、合格。まずまずの年でした。

●新しい年どんな気持ちでスタートしましたか? 「今年もまた「新たな一歩」という気持ちです。次の新たな目標に向けて、健康で毎日笑顔で過ごしたいですね。」

●ワークライフバランスを充実させるための、安達さんならではの工夫は? 「遊ぶ時は思い切って楽しむ。」

●「宮腰俊寛さん(二号館職員)」

●「自分の欠点はものごとをネガティブに見る事。辰は向上するイメージなので、そんな自分を変え、今年はずべて前向きに行きたいですね。」



●「神保里奈さん(管理部職員)」

●「経験は浅いですが、介護福祉は奥が深く、幅広い世界だと感じています。大事な人生の一部に携わり、支援者次第でサ

●「神保里奈さん(管理部職員)」

●「仕事では新たな相談業務の他、外部研修に参加したり、たくさん経験を積むことができました。プライベートでも充実した一年でした。」

●介護福祉業界で働く若手職員一人として、社会に向けて発信したいメッセージは?



●「明るさは私の持ち味でもあるので、今年も元気に仕事に励み、公私ともに成長したいです。キャリアアップではいろいろな資格取得や研修にも取り組みたいです。プライベートでは運動など何か新しいことにも挑戦したいです。」

●「介護現場は楽しいこと、辛いこと、嬉しいこと、厳しいこと様々で、奥が深い。イメージだけでなく正確に理解してほしいですね。」

ユニットたより

「クリスマスカード贈呈」

BCユニットの十二月行事は、恒例のクリスマス会の他、高橋昌子様の誕生日会を行いました。クリスマス会に先立ち、ハッピーバースデーを全員で歌い、高橋様にこれからも健やかな日々を、祝意を伝えると嬉しそうな表情を見せておられました。

クリスマス会では、職員が作った写真入りクリスマスカードを、サンタの衣装を着けた職員が一人ずつお渡しして記念撮影。「サンタさんが来てくれたんだね」「ありがと！」「と、皆さんそれぞれ素敵な笑顔で、クリスマス会の雰囲気を楽しんでいました。

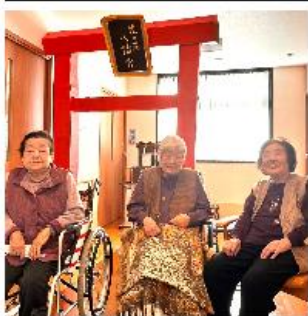


(B・Cユニット N)

新春特集

ASユニットでは、多くの人の年初行事である

初詣を苑内で、年末から準備。業務の合間に黙々と取り組んでいたのはユニット若手コンビの新井職員と品川職員。二人の共作による鳥居などを手製で。別に何かを祭るといふ訳でなく、言ってみれば心の内の年初行事。神妙な顔で手を合わせて念じている方に「どんな願いをされましたか」とお聞きしたところ、「話すとおかしいから」と言いつつ「子供や孫たちのために世界平和」とのことでした。



初詣の後と言えれば甘酒。もちろんノンアルコールですが「アルコールは入ってないのか」と残念なことでした。

新春を寿ぐユニット初行事

苑内初詣で世界平和を祈願

そうに話したのは高橋弘明様。それでもお代わりをされ満足顔でした。続いて一月二日に行った新年会では、同じく高橋様の「おでんが食べたいなあ」の独り言からメニューにおでんが決定。この日は午前中からASのフロアではおでんの匂いが充満。皆さんに馴染み深いおでんの味は、大人気でした。

加えてここでは一月生まれの矢菅様、渡邊様、青木様、芳野様、川野様の誕生日をお祝いし、記念のプレゼントをそれぞれ贈呈。皆様の今年の健康とご多幸を祈り、ASユニットの一連の年初行事は無事終了しました。



(A・Sユニット U)

辰年生まれが勢揃い

今年の干支「辰年」の皆様から一言コメントを頂きましたのでご紹介いたします。

- 一号館岡田ヨシエ様
「まずまず元気でいたいね。よろしくね」
- 一号館須藤照子様
「元気に過ごしたいね」
- 二号館松本昌子様
「今年も笑顔で過ごしたいです」
- 三号館鈴木万博様
「食事がうまく、健康に過ごせればいいね」



新しい年を迎える中、Dユニットでは今年の干支である「辰」の塗り絵大会を行い、新たなスタートを切りました。いくつかの「辰」の絵の中から好みのものを一枚選んで頂き、「一緒にやりましょう」との職員の声掛けもあり協力しながら今年初の塗り絵にチャレンジ。「ここは何色がいいかねえ」「辰ってどんな色？」などと相談しながら、時々休憩をはさみながら丁寧に仕上げていきました。

皆さんの塗り絵が完成したところで記念の写真撮影を。その後、おやつに皆様大好きな甘酒を召し上がって頂きました。今年の干支の「甲辰」は草木などが勢いを増していくことを表しているとのこと。それにあやかり、皆様が今年一年、健やかに元気に過ごせますよう、ユニットスタッフ一同全力で支援していきます。

(Dユニット A)

ユニットたより

「お菓子作りMVP賞」

年末予定していたASユニット恒例のクリスマス会は、感染症予防の関係で一旦中止となりましたが、後日改めてクリスマス会の意義を込めて、皆様と手作りによるケーキづくりを行うと共に、クリスマスプレゼントをお渡ししました。

いつもお菓子作りのパティシエ役をお願いしている伊藤様、瀧澤様、遊佐様による玉子割りからケーキ作りがスタート。慎重に生地をこね、出来



上がりを確認しながら均等に切り分けが完成。皆さんでケーキを堪能している中、サンタ役の新井職員と満丸職員が皆様に「レッグウォーマー」のプレゼントを配りました。これからの足元の冷え対策用です。「ありがと」と涙ながらに喜ばれる櫻井様。プレゼントに遊び心でくじを付けたところ、見事当りを引いた瀧澤様。「お菓子作りが一番頑張ったMVP賞です」と伝えると大粒の涙をポロリと流していました。

新しい年に向けて、皆様の健康を祈りながらのクリスマス会を無事終えることができました。

今回はユニット担当職員によるホルン（中村職員）、ベースギター（安達職員）の他、飛び入りでウクレレ演奏に加え、利用者様によるタンバリンを交え、賑やかにクリスマスソングを皆さんと共に歌い上げました。

三号館GSユニットの年末行事・忘年会では、職員手作りのたこ焼きを召し上がって頂きながら、今年度最後の「歌会」と共に「ビンゴ大会」を行いました。

「蘇ったギター演奏」三号館H1ユニットでは、毎年の恒例行事・ク



最初に岡田職員を中心に懐かしい昭和の曲や季節の歌を合唱。このうち

「上を向いて歩こう」は皆様の人気の曲で、リズムに乗ってとても懐かしそうに歌っていました。中でもGユニット一番の歌姫・後閑様は最後までマイクを離さず美声を披露していました。

たこ焼きの香ばしい匂いがユニット内に立ち込める中で「ビンゴ大会」が開始。時より「リーチ」「あく惜しいなあ」などの歓声やため息が交錯する中。大きな声で「ビンゴ！」と一番抜けの串田様。思わず職員と一緒に万歳！お菓子などの景品を手にとり、嬉しさを爆発させ大盛り上がりでした。そして最後はお待ちかね熱々のたこ焼きをゆっくりに召し上がって頂き、新しい年に思いを馳せながら忘年会を締めくくりました。

委員の一言メモ
★我が家の庭のろうばいが咲き始め、香りに癒やされています。切り枝を施設にも届けます(由)
★我が家では年末に大掃除をやり、大変疲れました。普段少しずつやっておけばと反省(努)
★元旦に注文した小さめの三段重おせち。量が多くて食べきれずに三日間かかってしまいました(彩)
★年初行事のため、利用者様におみくじを作成中。楽しんで頂けたらいいな(麻)
★広報コンテストに二年連続の最優秀賞とのこと。大変うれしいです(山)
★元旦から辛いニュースが頻発。この一年、どうか皆様笑顔で過ごすことが出来ますように(芳)
★例年、テレビ中継で初日の出を見ることが続いていましたが、今年には自宅から実際に日の出を見られました(美)
★元旦発生の能登半島地震。未だ被害全容が掴めない中、被災地に思いを馳せ、一面内容を差し替えました(井)

(G・Sユニット Y)